

# 闘虎

## No. 20 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
平成21年 秋季号



### 須藤元気さんありがとう！

#### 2009 おおたレスリング★フェスタ

10月24日（土）、太田市武道館において2009おおたレスリング★フェスタ「須藤元気レスリング教室」が行われた。これは毎年恒例太田市の一大スポーツイベント「おおたスポーツレクリエーション祭」の中で行われたもので、レスリング★フェスタは、2005年に行われた浜口京子さん、アニマル浜口さんを招いた「浜口親子と練習しよう」以来2度目。この日は県内の8クラブ約100人の子供たちが参加。須藤元気さんの「深み」のある講演から始まり、練習ではゲーム的要素を織り交ぜながら子供たちとふれあい、楽しいひと時を過ごした。最後に、お礼として太田市の地ビールを須藤元気さんに贈呈したが、贈呈者は、須藤元気さんの本を読んで読書感想文を書き、学校代表に選ばれた斉藤修弘くん（太田商業高校レスリング部1年）。贈呈の際、須藤元気さんと「差合い」までしてもらい、「元気」を注入された斉藤君擁する太商は、この1週間後に行われた県高校新人戦で団体優勝。歓喜に沸いた。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

## クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第20回

邑楽ジュニアレスリングクラブ



始まりはマット2枚！  
今は強豪クラブの一角

邑楽中野小5年 田部井 祐太  
ぼくが館林ジュニアでレスリングを始めて3ヶ月過ぎたころ、邑楽ジュニアレスリングクラブができました。邑楽ジュニアは、設立して5年半経ちます。最初は、マットがたった2枚で子供は3人でした。先生は2人でした。月・木の週2回の練習でした。今は、子供が30人くらいで、先生は8人に増えました。練習会場も広くなり、練習日も月・木・土の3回に増えました。クラブの中では、ボクが一番先輩です。練習は、めったに休みません。一生けんめいがんばっていますが、なかなか強くなれません。ほめられることよりも怒られる方が多いです。でも、レスリングは好きで続けたいし、クラブのみんなといるときは楽しいし、先生もふだんは大変やさしいです。みんなといっしょにもっと強くなって勝ちたいです。ぼくの父も先生の一人です。レスリングのことは、あまりほめてくれませんが、いつも「いい身体になった」とほめてくれます。これからもクラブのみんなのお手本になれるようにレスリングをがんばり続けます。

■練習日 毎週月・木・土曜日、午後6時30分～8時30分  
■練習会場 邑楽南中学校体育館

### SCHEDULE

■天皇杯全日本  
レスリング選手権大会  
12月21日（月）～23日（水）  
東京・代々木第2体育館

■館林市スポーツ少年団  
クラブ交流大会  
1月11日（月）  
館林市城沼総合体育館

■関東高校選抜  
レスリング大会  
1月30日（土）～31日（日）  
神奈川県逗子アリーナ

■関東甲信越  
少年レスリング大会  
2月28日（日）  
館林市城沼総合体育館



鈴木 明さん（館林市・43歳）  
「思い出の一片」

□この写真は昭和58年、私が館林高校2年のときの全国選抜の団体戦です。一番右にいる吊りパン姿が私で、70キロ級の松本誠也先輩の試合を見ながら、アップ勝負を待ち構えている場面です。一番左のセコンドもちろん高田裕司先生。この日の新潟は4月の初めでしたが、雪が降っていました。館高は第3位になり、私が唯一団体戦でメダルをもらった大会です。1年後のこの大会で、私は個人戦優勝。秋田インターハイでは負けましたが、奈良国体では、決勝で現在新日本プロレスの中西学を破り優勝しました。ちなみに日米親善ではドン・フライ（のちのUFCチャンピオン）とも戦っています。写真の私は高2ですが、この年、群馬県は赤城国体を控えていたので、徹底的に強化を図った年でした。年間のほとんど合宿をしていました。一番思い出に残っている年ですね。

# HERO'S IN GUNMA



## 池田 圭介 選手 (館林高校3年)

インターハイではベスト8で負けてしまったので、高校での残り2大会(全国グレコ・国体)はどうしても優勝したかったし、得意のグレコロマンなので、その力を発揮したかった。全グレでは優勝でき初の全国優勝なので素直にうれしかった。国体では決勝で敗れましたが、自信につながりました。大学へ行ってもレスリングを続けるので、また闘虎に載るようにがんばります。

において「第5回上武洋次郎杯邑楽町少年レスリング大会」が行われた。中学生の部で、館林ジュニアの中里貴大が練習の成果を発揮し見事優勝。レスリングの基本であるフォールによる勝利が多かったため、優秀選手賞を上武洋次郎氏から授与された。県内選手の優勝者は次のとおり。

【中学生男子】◇43 kg級 寺田光輝(太田) ◇66 kg級 中里貴大(館林)  
【中学生女子】◇46 kg級 大関蘭(O S A) ◇+52 kg級 鈴木紅夏(太田)  
【5〜6年男子】◇39 kg級 戸ヶ崎海渡(館林) ◇51 kg級 田部井祐太(邑楽) ◇+51 kg級 本多晃人(群大クラブ)  
【5〜6年女子】◇+42 kg級 鈴木芽衣(太田)



上武洋次郎氏から激励される中里貴大!

【3〜4年】◇28 kg級 高橋幸大(邑楽)  
◇+42 kg級 西川真由(伊勢崎)  
【1〜2年】◇20 kg級 清水聖矢(邑楽)

9月14〜17日、駒沢公園体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。松本篤史(日体大)がグレコでも2位、フリーでは余力を残す圧倒的優勝を飾り、全日本制圧まで秒読み開始となった。

【フリー】◇84 kg級 ①松本篤史(日体大)  
【グレコロマン】◇66 kg級 ③塚拓也(日体大) ◇84 kg級 ②松本篤史(日体大)  
【女子】◇55 kg級 ③藤本麻希(大東文化大)

10月25日(日)、城沼総合体育館において「東日本少年レスリング大会」が行われた。例年東京で開催される同大会を今年に完成まもない「みどり市体育館」のお披露目を兼ねて開かれ、81クラブの選手が参加。早速同体育館動員記録を作った。

県内選手優勝者は次のとおり。  
【中学生男子】◇+73 kg級 関谷雄太郎(邑楽)  
【中学生女子】◇+58 kg級 鈴木紅夏(太田) ◇+45 kg級 鈴木夏(太田)

11月1日(日)、城沼総合体育館で「第33回群馬県小学生総合体育大会レスリング競技会」が行われた。5〜6年生の部で大間々クラブが2階級を獲り、またわずかに4人出場のおおたスポーツアカデミーから新星・井上仁誠が優勝した。

【5〜6年】◇30 kg級 小島彩暉(大間々) ◇34 kg級 金子麗一(同)  
◇39 kg級 山本歩夢(伊勢崎) ◇45 kg級 川上直也(明和) ◇51 kg級 柴崎世真(館林) ◇+51 kg級 鈴木芽衣(太田)

【3〜4年】◇24 kg級 清野大輝(邑楽) ◇28 kg級 木村智洋(館林) ◇33 kg級 藤倉健吾(邑楽) ◇39 kg級 関谷佳那子(同) ◇42 kg級 大川卓也(館林) ◇+42 kg級 西川真由(伊勢崎)

【1〜2年】◇20 kg級 清水聖矢(邑楽) ◇24 kg級 日下部倅慎(館林) ◇28 kg級 井上仁誠(O S A) ◇+28 kg級 佐々木颯斗(太田) ◇+21 kg級 生形時人(大間々) ◇+21 kg級 城所拓馬(太田)

11月15日(日)、邑楽町民体育館において「全日本女子オープン大会」が行われた。昨年度全中王者・金子和(大泉)が1年生ながら2・3年生を次々と破り堂々優勝。早くも高校ビッグタイトルを手にした。スクールガールでは木村安里(千代田)が難なく優勝を飾り、中学生最後の全国タイトルをしっかりと手中に収めた。大学生では新井千明(早大)が優勝した。

県内選手入賞者は次のとおり。  
【シニア・ジュニア】◇55 kg級 ①金子和(大泉) 優勝!  
木村安里も全国奪回!  
全日本女子オープン大会

# 創部以来初!太商が新人戦団体優勝!

## 群馬県高校レスリング新人大会

10月31日〜11月1日、城沼総合体育館において「群馬県高校レスリング新人大会兼関東選抜群馬県予選会」が行われた。団体戦で、太田商業高校が創部以来初となる優勝を飾った。太商は、昨年度からマット2面常備し、そして今年度から長島正彦氏をコーチとして招聘。さらに太田俱樂部から、全中王者を含めた新入部員が加わり、団体戦が戦える体制が整い、早速成果を表した。



団体戦初優勝を成し遂げた歴史的メンバー!

各階級優勝者は次のとおり。

【個人戦】◇50 kg級 金子佐(太商) ◇55 kg級 金沢誠也(前西) ◇60 kg級 根岸亨宗(同) ◇66 kg級 橋口光太郎(関学) ◇74 kg級 木村政貴(館林) ◇84 kg級 亀山晃寛(大泉) ◇96 kg級 但馬恭裕(館林) ◇120 kg級 竹内将実(富実)

【女子】◇軽量級 岡田千晴(西邑楽) ◇中量級 金子和(大泉) ◇重量級 吉井瑞江(富実)

【団体戦】①太商 ②大泉 ③関学

## 金子和(大泉)優勝! 木村安里も全国奪回! 全日本女子オープン大会

10月・11日、静岡県立稲取高校体育館(東伊豆町)において「第4回全日本女子オープンレスリング選手権大会」が行われた。昨年度全中王者・金子和(大泉)が1年生ながら2・3年生を次々と破り堂々優勝。早くも高校ビッグタイトルを手にした。スクールガールでは木村安里(千代田)が難なく優勝を飾り、中学生最後の全国タイトルをしっかりと手中に収めた。大学生では新井千明(早大)が優勝した。

県内選手入賞者は次のとおり。  
【シニア・ジュニア】◇55 kg級 ①

9月26〜29日、新潟県白根カルチャーセンターにおいて新潟国体が行われた。少年では、8月の全国グレコで優勝した池田圭介が決勝まで進出。惜しくも優勝は逃したが、高校ラスト2大会で優勝争いをしたことは大きな自信につながったろう。

【成年フリー】◇120 kg級 ②米山祥嗣(関学教)  
【少年グレコロマン】◇55 kg級 ②池田圭介(館林)

## 池田圭介(館高)準V! グレコで実力を発揮! トキめき新潟国体

11月15日(日)、邑楽町民体育館において「全日本学生レスリング選手権大会」が行われた。松本篤史(日体大)がグレコでも2位、フリーでは余力を残す圧倒的優勝を飾り、全日本制圧まで秒読み開始となった。

【フリー】◇84 kg級 ①松本篤史(日体大)  
【グレコロマン】◇66 kg級 ③塚拓也(日体大) ◇84 kg級 ②松本篤史(日体大)  
【女子】◇55 kg級 ③藤本麻希(大東文化大)

## 中里貴大(館林J)が 「優秀選手賞」を獲得! 上武杯少年レスリング大会

11月15日(日)、邑楽町民体育館

## なごJUNMAのレスクイーン



西邑楽高校 小暮 香さん(1年)

私は佐野南中時代、柔道をしていました。県大会で3位になったので、高校でも柔道が続けようと思っていましたが、違う競技もやりたいと思うようになり、西邑楽高校のスポーツ科が目に入り、入学してレスリング部には割と気軽に入りました。清水真理子先生は一言でいうと優しく厳しい先生です。清水先生が世界選手権で銀メダルを獲った選手だということを知りました。すごい人に教わってるんだなと思います。先輩方もいろいろのことを教えてくれる優しい方ばかりです。これからは、試合で一つでも多く勝てるよう努力したいと思っています。